

# 企業紹介

## 自然素材で 環境に配慮した紙製品を製造



安達紙器工業 株式会社

代表取締役 安達 真知男  
〒940-0029 長岡市東蔵王2-7-30  
TEL(0258)24-2145 FAX(0258)24-5597  
URL <http://www.adachishiki.co.jp/>

業 種：紙製容器製造  
資 本 金：5,000万円  
事業内容：特殊紙加工品各種、段ボールケース、  
包装箱全般、その他の紙加工品の製造

紙を材料に、収納ケースや剣道防具、電気絶縁部品など、生活用品から工業用品まで多種多様な製品を製造する安達紙器工業株。これらの製品は紙製とは思えないほど「水に強くて丈夫」である。使用する原料は、再生紙や木材パルプ・綿パルプなどの自然素材。同社では、OEM（相手先ブランドによる製品の製造）のほか、自社製品の開発にも力を入れ、紙製品のさらなる可能性に挑戦する。

### 強さと耐久性、電気絶縁性に優れた特殊紙を使用

同社の創業は昭和17年。創業当時から木材パルプや綿パルプを原材料とした特殊紙「バルカナイズド・ファイバー」を使い、収納箱やカバン、剣道防具などを製造してきた。現在ではこのほか、再生紙を主原料とした「パスコ」と呼ばれる特殊紙を使用し、トランクや椅子、什器など、生活用品から工業用品まで幅広い製品を手がけており、同社の「パスコ」加工品は国内でも圧倒的なシェアを誇る。こうした「バルカナイズド・ファイバー」や「パスコ」等の特殊紙は、紙なのにプラスチックや金属と同様の強さを持ち、耐久性、電気絶縁性等も優れているため、多様な製品へと加工が可能だ。しかし、1枚の平面からなる特殊紙を成形していく技術は難易度が高く、加工できる企業は県内では同社のみで、全国でも数社しかない。



▲紙製の収納ボックス

### 特殊紙の特性を活かしたオリジナル製品を開発

同社の製品の多くがOEMだが、近年ではオリジナル製品の開発にも力を入れている。これらの製品は評価も高く、「紙で紙を切る」という新しい発想から生まれたペーパーナイフは、ドイツで開かれた世界最大の見本市で賞を受賞した。また、災害対策用品として開発された、軽量の紙製担架「レスキューボード」や、簡単に組み立てられる段ボールの「更衣室&授乳室」、折りたたみ式のスクリーン「AED SCREEN」などは、常備している企業や自治体も多く、すでに実際の災害現場でも活躍している。



▲簡単に持ち運べる「レスキューボード」

### 自然素材で環境面に配慮した製品を製造

今日、環境問題の関心が深まり、環境に配慮した製品への需要も高まりつつある。「当社の製品は、自然素材を使った紙製なので廃棄しても有害な物質が発生せず環境に優しい。素材の性質上、高額な金型が必要ないため、コストをかけずに少量多品種に対応できます。紙は技術次第で多様な形状に加工できるため、大きな可能性を持つ素材でもあるのです」と安達社長は紙製品の魅力を語る。



▲安達社長（1階ショールームにて）